に於ては著明な核膜の消失の認められなかつた点に於て筋肉細胞に於ける状況とは異つてゐる。尙お γ -BHC の毒作用による細胞構造の変化は麻痺期より漸次高度に現れ斃死直後では最も高度となり漸次減退して24時間後では殆んど変異は消失し唯核の変形と今迄に認められなかつた不形質の均一化を認めるに至つた。

〔大阪市立医大〕

蠅幼虫に対する殺虫剤の効力(第3報)

遠山輝彦・鈴木 猛

Toyama, T. & Suzuki, T.: Effect of insecticides on fly larvae (III)

内径9cmの腰高シャーレにモミガラ2grと稀釈薬液20ccを入れて混和したものにハエ幼虫を24時間浸漬し、試験後24時間経過して生死を鑑別する方法により、ハエ幼虫の種類・齢期による薬剤に対する抵抗力の差異を比較し、又、諸種殺虫剤の有効殺虫濃度を比較試験して次の結果を得た。1) センチクバエ *Sarcophaga peregrina* R-D, オオクロバエ *Calliphora vomitoria* L. イエバエ *Musca domestica* L. 各3齢幼虫の γ -BHCに対する抵抗力は、センチクバエが最強でオオクロバエの2倍、イエバエの30倍であつた。2) センチクバエ2齢、3齢幼虫の γ -BHCに対する抵抗力は、3齢幼虫は2齢幼虫より数倍強く、又3齢幼虫では蛹化直前のものに若干の抵抗力の増大がみられたが、大略3齢期間を通じて抵抗力の差異は少ない。3) γ -BHC, DDT, ODB (o-Dichlorobenzene), Chlordane, Aldrin, Dieldrin 各乳剤のセンチクバエ3齢幼虫に対する有効殺虫濃度を比較した。各乳剤は適当な数段階に水で稀釈し、各稀釈段階につき幼虫25匹を用いて数回のくりかえしを行い、夫々の平均死亡率よりプロビット法で薬量—死亡率回帰直線を求め、これより、有効殺虫濃度としてMLDを算出した。各薬剤の有効度を原剤換算によるMLDと比較すると γ -BHCが最も有効で、約20,000倍を示し、Chlordane類の約3倍、ODBの約30倍、DDTの約200倍の効力を示した。又、回帰直線の傾斜、即ち殺虫能率は、ODBが最大でBHC, DDTこれに次ぎ、Chlordane類は極めて小であつた。尙お、 X^2 -検定の結果各回帰直線は充分な適合性を示し、試験方法及び試験結果共、満足すべきものであつた。〔伝研寄生虫〕

岡山市に於ける1953年度日本脳炎流行と蚊の燈火採集成績に就いて

山口左伸・稻臣成一・木村道也

Yamaguti, S., Inatomi, S. & Kimura, M.:

On the incidence of Japanese B encephalitis and the mosquitoes collected by light-trap at Okayama in 1953

1950年以来第4回目の本年も今迄と全く同様な要領によつて採集集計し、過去3年の成績とともに考察した。採集計数は44回、その総数は6674匹で内雌は3068匹であつた。アカイエカは728匹で本年に於て最も多く過去の約2倍であるが、その曲線の形状は例年と大差ない。然し6月初旬来多数に採集され且つその山の形成も少しく早いようである。コガタアカイエカは5月26日より10月1日迄に2251匹でその数は昨年と大差はない。これは然し50年の $1/8$ 、51年の $1/4$ に当り、こゝ2年続いて非常に少かつたわけである。シナハマダラカは昨年より増加はしているが当初の2年に比して少く、8月下旬9月中は殆んど採集されていない。以上各種の蚊の発生数並に曲線の消長は一に天候に左右されているものゝようで、梅雨期間中の雨量は平年雨量の2.5倍、降雨日数又6,7月共に月の $2/3$ を越える有様であり、漸く盛夏に入り1カ月の晴天をみたが、8月下旬に入ると又降雨が続き気温の低下が顕著で、本年の晴天日数、高温期間の縮小がコガタアカイエカの発生に大いに不利に働いたようで、その最盛期も極端に短く1週間で、一方むしろやゝ低い温度を好むアカイエカに有利となり本年の数字を生んだものと考えられる。従つてアカイエカとコガタアカイエカの日計百分率上の交叉点も7月上旬及び9月上旬にみられ非常に遅く且つ早くみられたのであろう。日本脳炎患者の発生数は12名で8月中旬から9月上旬にかけて発生しているが、現在迄4年間の患者数並びに蚊特にコガタアカイエカとの間に平行乃至一定関係が見出せないが、患者の多発が常に最盛期後1ヵ月にある点のみ一致している。〔岡山大寄生虫〕

京都附近の蚊の越冬状態について(第2報)

中田 五一

Nakata, G.: Observations on the wintering habits of mosquitoes about Kyoto, Japan

1953年秋から、翌年春にかけて実施した各種の蚊の室